株式会社 アマネックス

測量で使用するドローンとレーザーセンサー

▶健康づくりを導入した契機や時期◀

導入の契機

社員の高齢化にともない、生活習慣病などが増えてきた。健康寿命を伸ばし、元気に長く業務が出来る環境整備が求められる。協会けんぽの生き活き健康事業所宣言は、客観的な健康チェックが出来るため、応募した。

▶特に力を入れている取り組み内容◀

取り組み内容

- 定期健康診断100%実施
- 保健師による特定保健指導
- 感染症対策

企業概要

測量・地質調査・建設コンサルタント

株式会社 アマネックス

〒371-0031　前橋市下小出町3-2-7
TEL.027-232-2111（代表）

設　　立▶1956(昭和31)年 関東測量株式会社 設立
2022(令和4)年10月 株式会社アマネックス 社名変更
代表取締役▶伊藤　成樹　　従業員数▶70人

https://amanex.co.jp

従業員の安全・安心のために 健康に万全の配慮

朝礼はコロナウイルス感染症対策のため映像配信で行う

最新テクノロジーの導入で安全・安心の確保

株式会社アマネックスは、昨年関東測量から社名変更した。創業以来70年近く、測量や建設コンサルタントとして、郷土のインフラや公共建築を担ってきた老舗企業である。同社は時代の変化に対応し、新しい技術を積極的に取り入れて業績を伸ばしている。

従来の測量は、重い機材を担ぎ、野山に分け入る、といったイメージがある。時代の変化に対応するため、他に先駆けラジコンヘリを導入し、空中から測量する方式を取り入れた。現在では、レーザー測定器を搭載したドローンを飛ばして広域の測量を、ミリ単位でできるまでに進化している。

能力ある社員が長く健康に仕事が出来るように

定期健康診断は、就業時間中に100%実施、35歳以上は生活習慣病予防健診も利用している。また、特定保健指導は、社内に場所を設置して対応し、産業医の問診については、コロナ禍のため、リモートで実施している。

健康管理担当の取締役総務部桜井逸夫統括は「健康管理では、衛生管理者、健康保健委員を置き、また安全委員会とも連携して社員の健康を守る取り組みを行っています。近年はコロナ対応が大変でした。お客様にご迷惑をおかけしないように、朝礼・発表会のオンライン配信、業務においても、テレワークを積極的に導入しています」と語る。

一方技術の進歩により、逆に運動量が減るといった問題も出てきている。

「技術をもった社歴の長い社員が、力を発揮しています。年齢が上がると、血圧、メタボなど要注意の人も増えてきますね」

ドローンやセンサー類の導入で、体力が要求される場面は減ってきた。その半面運動不足などが目立っている。そのためさまざまな機会を捉え、運動をすすめている。

ジョギングのグループをつくり、ぐんまマラソンなどに参加する人もいる。また、運動と省エネを兼ね、自転車通勤をする社員も増えてきた。

熱中症防止用センサー

健康管理担当の取締役総務部桜井逸夫統括

健康に働きやすい環境の整備

健康意識を高めるため、協会けんぽのメールマガジンを社内で閲覧し、情報の共有化を図っている。基礎的な分野では、社用車・敷地内禁煙を徹底し、就業時以外での喫煙率の減少も実現している。

「当社は高い技術が特徴です。システムの進歩により、以前の数十倍の効率が期待できます。そのためには、スキルを持った社員が、長く健康で働ける職場環境の整備が大事ですね」と、健康管理の意義を語ってくれた。